

皆様、新年明けましておめでとうございます。

今年、平成22年（2010年）は、明治23年（1890年）2月15日に高松市が誕生して丁度120周年を迎える記念の年です。そして、それをお祝いするべく、「第2回高松国際ピアノコンクール」と「瀬戸内国際芸術祭



高松市長 大西 秀人 氏

2010」という2つの大きな国際イベントが高松を中心に開催されます。経済情勢等はまだまだ厳しい中ですが、これらのイベントで地域や市民が少しでも明るく盛り上がるこ

とが出来れば、と願っています。
さて、市制施行120周年の記念日に、これからの本市の市政運営の基本方針となる新

しい条例が施行されます。私がマニフェストで制定をお約束した「高松市自治基本条例」です。先の12月市議会で、条例案が満場一致で可決成立し、2月15日の記念日にスタートさせるものです。

この条例では、高松市で初めて、憲法にあるような前文を置いています。その中で、「私

を進めることを謳っています。そして、条文の中では、特に本市に特徴のある施策として、「コミュニティ」を取り上げ、その推進母体である「地域コミュニティ協議会」を地域の課題を解決するために活動する組織として明確に位置づけました。

市政施行120周年という2度目の還暦を

市制120周年と 「自治基本条例」施行

【プロフィール】
1959年8月生まれ。
1982年 自治省入省。
1999年 自治省税務局税務企画官に就任。
2000年 島根県赴任（総務部長）。
2006年 総務省情報通信政策局地域放送課長を最後に総務省退職。
2007年5月 高松市長就任。

たち市民一人一人がまちづくりの担い手であることを自覚して、市政および地域の課題の解決に積極的に取り組むとともに、市民、議会、行政が適切な役割分担の下、多様な協力関係を構築し、参画と協働のまちづくりを進めていくことが必要です」として、情報共有とともに参画と協働の原則の下に自治運営を

迎え、本市が再スタートを切るに当たって、「参加と協働で進めるコミュニティを軸としたまちづくり」などの基本的な理念や原則を皆で共有し、「心豊かな文化のかおりあふれる市民主体のまちづくりを推進」していきたいと思